



Living My Dream Life

in ふじのくに

大好きな静岡を ラグビーの王国にしたい。

女子ラグビー選手

いし い も も か

石井桜果さん

(静岡市出身)

1998年静岡市生まれ。女子7人制ラグビーチーム「アザレア・セブン」所属。同チームへの入団を機に帰郷。所属クラブの関連企業で働きながら、日マトレニングに汗を流す。地元愛が強く、チームメートに静岡の食文化を自慢することも。性格は負けず嫌いとい自己分析する。ポジションはトライゲッターのWTB(ウイングスリークォーターバック)。



チームでは仲間に元気や勇気を与える存在。「まずはこのチームを国内最高峰の女子リーグへ導きたい」と石井さん。



アザレア・セブンは、ヤマハ発動機ジュビロの前監督・清宮克幸氏が代表理事を務める一般社団法人アザレア・スポーツクラブに属す。監督は代表キャップ81の小野澤宏時氏。

「チームの活躍を通じて静岡の女子スポーツを盛り上げたい。そして大好きな静岡をラグビーの王国にしたい」と語る石井さん。

女子7人制ラグビーチーム「アザレア・セブン」(袋井市)の選手・石井桜果さんは、自分の直感を信じ、その時、その瞬間に全力を傾けてきた。小学生の時は空手、中学生の時はバレーボールに熱中し、ラグビーと出会ったのは高校入学時だ。「集団行動が苦手な子でした。でもラグビーは、そんな子どもにも寛容で、そのままの私を受け入れてくれました」と石井さんは振り返る。

恩師の助言もあって日本体育大学へ進学した石井さんは、すぐに挫折を味わう。「全国から集まってきたラグビー部員のレベルに驚きました。都会の空気にもなじみなくて」。その後、大学を休学してラグビーのレフリーに転身し、多くの試合をレフリーとして目の当たりにすると、悔しく、羨ましい気持ちになった。「やっぱり選手がやりたい」。そう確信した石井さんは、アザレア・セブンの入団テストを受け、合格を勝ち取った。「私とラグビーをつないでくれた恩師や地元のためにも、まだやめられません」。

奔放な性格を乗り越えて“みんながハッピー”を信条に掲げる石井さんは「頑張っていれば、何とかしてくれる人が現れます。だから私も子どもに笑顔を与える存在になりたい」と語る。自分の直感を信じながら、感謝の気持ちも忘れない石井さんの熱き挑戦と夢の時間はまだ続く。